

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	33	B	95	C	1	D	0	II	
		A	18	B	67	C	0	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた									
		A	15	B	28	C	1	D	0		
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	16	B	61	C	1	D	0	II	
		A	8	B	40	C	0	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	8	B	21	C	1	D	0		
(1)	入学者受入方針及び入試制度に関する目標を達成するための措置	A	2	B	5	C	0	D	0	II	<会津大学> 入学センター運営会議で、受験生からのアンケート結果等を検証・分析し、より効果的な学生募集広報計画の策定等を行い、一般入試の志願倍率が、4.5倍と前年度(4.1倍)を上回ったことは評価できる。  <短期大学部> オープンキャンパスを従来の8月、10月に加えて、新たに6月にも開催したり、短期大学部のLINEを開設したことや、教員による県外への高校訪問を109校実施し、積極的に入学者確保に取り組んだことは評価できる。
		A	0	B	4	C	0	D	0		
		(会津大学) より効果的な学生募集広報活動計画の策定や、積極的な広報活動を行った結果、一般入試志願倍率が増加するなど、計画どおり実施した。									
		A	2	B	1	C	0	D	0		
(2)	教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	A	5	B	28	C	1	D	0	II	<会津大学> 学部専門教育と大学院教育に連続性をもたせるため、検討中の学部4学期制導入に先駆け、27年度に向け、全ての学期で8週間の授業を行うことを決定したことは評価できる。  <短期大学部> 栄養士免許資格、NR・サプリメントアドバイザー及びフードスペシャリスト認定受験資格の取得希望者取得率が100%であったこと、また、社会福祉士について、平成26年度の学校別合格率が、全国の短大、専門学校の中で1位であったことは評価できる。
		A	3	B	20	C	0	D	0		
		(会津大学) 短期留学生への教育を、科目として提供するだけでなく、成果の評価をタイムリーに実施することにより、学生の英語力・異文化適応力・多様性への対応力等の拡充を図った。また、「課外プロジェクト」を引き続き実施し、入学初年度から高度な研究分野に触れる機会を提供することにより、自主的に研究テーマの設定ができる能力の醸成を図った。さらに、「ベンチャー体験工房」を10工房開講し、実社会に通用する提案能力、実践能力、豊かな想像力と起業家精神を持った学生の育成を目指しながら、日常的な問題について科学的に解決できる能力を育てるなど、計画どおり実施した。									
		A	2	B	8	C	1	D	0		
		(会津大学短期大学部) 社会福祉学科では教育課程に、保育士に加えて幼稚園教諭の免許も取得できる課程を新設する方針を固めた。社会福祉士の平成26年度学校別合格率が、短大、専門学校の中で全国第1位の合格率となるなど、計画どおり実施した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	2	B	8	C	0	D	0	II	<会津大学> 最新の情報技術の動向を踏まえ、演習室5・6、iLab教室1・2に先進の計算機システムを整備し、次期ネットワーク設備の更新作業を進め教育環境の整備を行ったことは評価できる。  <短期大学部> 学内LANの安定運用のため、ネットワーク稼働状況の監視サービスを稼働させることで、トラブルを未然に防ぐ体制を整備したことは評価できる。
		A	1	B	4	C	0	D	0		
		(会津大学) 教員補充をすべて国際公募による募集を行うなど、計画どおり実施した。									
		A	1	B	4	C	0	D	0		
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	7	B	20	C	0	D	0	II	<会津大学> 震災被災者を含め学生の経済的負担を軽減するための、年間授業料免除を実施したこと、また、留学生の生活相談や日本人学生の留学相談が前年度より増加(平成25年度50件、平成26年度65件)するなど積極的に学生支援に取り組んだことは評価できる。  <短期大学部> キャリア支援センター主導によるインターンシップ受入先の拡充や求人開拓を行ったほか、卒業生の就職先にアンケートを実施して、情報収集を行い、学生の就職支援に活用したことは評価できる。
		A	4	B	12	C	0	D	0		
		(会津大学) 修学支援室におけるTA・SAを活用した学修指導、授業料減免による学生の経済的負担軽減、キャリアデザインの講義や就職相談室の学生相談するなど、計画どおり実施した。									
		A	3	B	8	C	0	D	0		
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	6	B	19	C	0	D	0	II	
		A	3	B	16	C	0	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	3	B	3	C	0	D	0		
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	3	B	14	C	0	D	0	II	<会津大学> 昨年12月に打ち上げられた「はやぶさ2」プロジェクトへの参画や、インドの夏季モンスーンの高解像度季節予測の実施、福島県立医科大学や東京大学医科学研究所との連携した研究など、国内外の多様な機関と積極的に連携して先進的な研究を推進したことは評価できる。  <短期大学部> 基礎的研究の成果を「研究紀要」、「研究シーズ集」にまとめ、短期大学部のWebサイトで公開し、地域社会や企業等との連携を図り、地域活性化に役立てたことは評価できる。
		A	3	B	12	C	0	D	0		
		(会津大学) 3部門における各種研究への取組、戦略的研究、先端情報科学研究センター(CAIST)における研究を行ったほか、国際学会を開催するなど、一部計画を上回る実績を上げた。									
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 地域活性化センター受託事業の展開や卒業研究の活用、研究成果の「研究紀要」等への掲載など、計画どおり実施した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	A	3	B	5	C	0	D	0	II	<会津大学> 産学イノベーションセンターを中心に、研究シーズと企業ニーズのマッチングに取り組むとともに、ロボット情報工学クラスターの新設など、社会ニーズ等を反映して、先端情報科学研究センター内のクラスターの追加等について検討し、決定したことは評価できる。  <短期大学部> 研究体制を柔軟に運営することで、復興支援プロジェクトとして、学習支援事業とキッズカレッジ開催事業を実施したことは評価できる。
		A	0	B	4	C	0	D	0		
		(会津大学) 先端情報科学研究センターの運営や共同研究、受託研究等の外部資金の獲得に向けた取組など、計画どおり実施した。									
		A	3	B	1	C	0	D	0		
3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	6	B	14	C	0	D	0	II	/
		A	3	B	10	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	3	B	4	C	0	D	0		
(1)	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	A	6	B	11	C	0	D	0	II	<会津大学> 県内外の高校への出前講義・教員派遣を実施するとともに、高大連携協定を締結している会津学鳳高校の生徒を特別聴講生として受け入れるなど、地域貢献に積極的に取り組んでいることは評価できる。  <短期大学部> 学生参画型実学・実践教育等を通し、コンペ形式によるデザイン提案や新商品、メニュー開発、NPOへのボランティア活動の協力など、幅広く地域との連携を進めたことは評価できる。
		A	3	B	8	C	0	D	0		
		(会津大学) 「会津大学地域貢献ポリシー」に基づき、県内外の高等学校への出前講義・教員派遣公開講座や高大連携協定に基づく連携事業の実施など、計画どおり実施するなど、一部計画を上回る成果を上げた。									
		A	3	B	3	C	0	D	0		
(2)	地域産業の振興に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	<会津大学> 多様な議論を通して創造を活性化させ、革新的な技術・ビジネスモデルを生み出すことを目的とした会津オープンイノベーション会議を開催し、大学発ベンチャーとの連携した取組を推進したことは評価できる。  <短期大学部> 地域連携機関との協働、連携事業として、ふくしまのおいしい「食」で元気になるうプロジェクト、学校給食地場食材利用拡大モデル事業、あいづまちなかアートプロジェクト「会津・漆の芸術祭2014」作品展示関連事業等に取り組む、地域の産業振興及び発展に努めたことは評価できる。
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) 研究シーズの特許化、研究シーズと企業ニーズのマッチング、研究シーズの紹介、AOI会議の開催など、計画どおり実施した。									
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 地域活性化センターを中心に、各種協働連携事業や復興支援プロジェクト、受託事業等を実施するなど、計画どおり実施した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
4	国際交流に関する目標を達成するための措置	A	5	B	1	C	0	D	0	II	
		A	4	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画を上回る実績を上げた。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
(1)	国際交流の推進に関する目標を達成するための措置	A	5	B	1	C	0	D	0	II	<会津大学> 新たに集中英語科目「Global Experience Gateway」を立ち上げ、短期留学とその前後の授業を一連として単位化することにより、学生が留学しやすい環境づくりを行ったことは評価できる。  <短期大学部> タイの泰日工業大学とのスカイプ交流や、ヤングアメリカンズin大熊中学校への協力、また、福島県費負担中南米国留学生引受事業として、ブラジル人留学生を2名受け入れるなどの国際交流の取組を推進したことは評価できる。
		A	4	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 国際交流協定の締結や締結校との単位互換に基づく学生の派遣、受入などの具体的交流を引き続き行ったほか、文部科学省「スーパーグローバル大学創生支援事業」タイプBグローバル牽引型に採択されるなど、計画を上回る実績を上げた。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
第2	東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	1	B	10	C	0	D	0	II	
		A	1	B	7	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	0	B	3	C	0	D	0		
1	復興支援に関する目標を達成するための措置	A	1	B	5	C	0	D	0	II	
		A	1	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画を上回る実績を上げた。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(1)	本県復興を担うIT人材等の育成	A	1	B	3	C	0	D	0	II	<会津大学> 「実践的ICT人材育成プログラム」として「IoT(Internet of Things)」人材育成講座、マルチプラットフォームアプリケーション開発講座等4講座を開設し、IT人材育成に取り組んだことは評価できる。  <短期大学部> 卒業研究ゼミ、地域プロジェクト演習を通じて復興課題の解決に取り組める人材の育成に努めたことは評価できる。
		A	1	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) 会津SLF協議会による「ICT人材育成プログラム」、「IT起業家育成促進事業」(通称: Open App Lab)を実施するなど、一部計画を上回る成果を上げた。									
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 卒業研究ゼミ、地域プロジェクト演習を通じて復興課題の解決に取り組める人材の育成に努めたほか、大熊町教育委員会との教育連携に関する協定に基づき、大熊町立小・中学校への講師派遣や大熊中学校へのグラウンドや体育館の開放など大熊町の将来を担う人材の育成への支援を、計画どおり実施した。									
(2)	新たな社会づくりに向けた取組	A	0	B	2	C	0	D	0	II	<会津大学> 復興支援センターにおいて、ICT関連企業や地元ベンチャー企業と連携し「エネルギーマネジメントシステム」や「スマートスーパーマーケット」等の先端的研究に取り組んだこと、また、活動の拠点となる「先端ICTラボ」の整備に着手し竣工に向け着実に取り組んだことは評価できる。  <短期大学部> 復興支援プロジェクトとして、仮設住宅集会所における学生ボランティアによる学習支援や、キッズカレッジを開講し各学科の特徴を生かした企画を行ったことは評価できる。
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を通じて、福島県の振興に貢献すべく、県内外のICT関連企業や地元ベンチャー企業との連携の下に、「エネルギーマネジメントシステム」や「スマートスーパーマーケット」等の先端的研究に取り組んだ。活動の拠点となる中核施設「先端ICTラボ」の整備に着手するなど、計画どおり実施した。									
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 学習支援、キッズカレッジの開講など、計画どおり実施した。									
2	復興支援のIT活用に関する目標を達成するための措置	A	0	B	3	C	0	D	0	II	/
		A	0	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
(1)	健康調査等に対するITの観点からの支援	A	0	B	1	C	0	D	0	II	<会津大学> 福島県立医科大学が行う県民健康調査において、県民が安全安心に任せられるデータ管理を行うため、「県民健康調査データベース専門委員会」に参加し、IT専門の大学として提言を行ったことは評価できる。
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 福島県立医科大学等が行う県民健康調査において、県民が安全安心に任せられるデータの管理を行うため、システム管理やセキュリティ対策等についてICT専門の大学である本学の知見をいかした支援を計画どおり実施した。									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(2)	新たな産業創出に向けた取組	A	0	B	2	C	0	D	0	II	〈会津大学〉 産学イノベーション促進事業において、ICTを活用した震災復興に関する産学連携による研究を実施、また、平成25年度に引き続き競争的研究費に「復興枠」を設定し、学内研究者へ震災復興に対する意識啓発を行ったことは評価できる。
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) 経済産業省補助事業「産学連携イノベーション促進事業」や文部科学省補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」を計画どおり実施した。									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
3	復興支援の連携・協力に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	〈会津大学〉 平成25年度までに開発したスマートグリッド情報基盤の機能を利用した実証プロジェクトを関連研究機関(産総研・福島大学等)と連携して推進したこと、また、産総研との連携協力に関する協定を締結して、再生可能エネルギーに関する共同研究等を推進したことは評価できる。
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
第3	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	11	B	62	C	3	D	0	II	
		A	6	B	34	C	2	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	5	B	28	C	1	D	0		
		(会津大学短期大学部) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	A	2	B	16	C	1	D	0	II	
		A	2	B	8	C	1	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	0	B	8	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	A	2	B	10	C	1	D	0	II	〈会津大学〉 法人職員を計画的に採用したこと、また専門的な知識経験等を有する職員を特定プロジェクト支援者として雇用し、当該プロジェクトを推進したことは評価できる。
		A	2	B	5	C	1	D	0		
		(会津大学) 計画的な法人職員の採用や、教員の公募による採用など、概ね計画どおり実施した。									
		A	0	B	5	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 教育研究審議会、教授会等各種会議を適切に行うなど、計画どおり実施した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	<会津大学> 新学務システムについて、平成26年10月から運用を開始し、学生・教職員の利便性が向上したことは評価できる。  <短期大学部> 学内Webポータルサイトを適切に運用した情報の共有化や日常業務のペーパーレス化を進めたことは評価できる。
		A	0	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) アウトソーシングや会議の効率的、合理的な運営等、事務の効率化・合理化などを、計画どおり実施した。									
		(会津大学短期大学部) アウトソーシングや各種会議のペーパーレス化の促進により事務の効率化・合理化などを計画どおり実施した。									
2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	A	3	B	6	C	1	D	0	II	/
		A	2	B	4	C	1	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		(会津大学短期大学部) 計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	1	B	5	C	1	D	0	II	<会津大学> 科学研究費補助金などの公募型外部資金に関する情報を教員に周知し、公募への申請数が目標数の50件を超え、56件の申請があったことは評価できる。  <短期大学部> 公募型外部資金に関する情報を教員に情報提供し、科研費に係る説明会を開催するなど申請に対する支援を行い、20件の申請があったことは評価できる。
		A	1	B	3	C	1	D	0		
		(会津大学) 科学研究費補助金などの様々な公募型外部資金に関する情報を速やかにメールで通知するとともに、研究棟の専用掲示板により公募情報を案内した。また、各教員からの求めに応じて、書類作成等へのサポートなどの研究申請に対する支援を行い、計画を上回る公募型資金の申請を行うなど、概ね計画どおり実施した。									
		(会津大学短期大学部) 公募型外部資金に関する情報を一覧表に取りまとめ教員に情報提供したほか、科学研究費助成事業に係る説明会を開催し、申請に対する支援を行い積極的な応募を促すなど、計画どおり実施した。									
(2)	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	A	2	B	1	C	0	D	0	II	<会津大学> 「ライトダウンキャンペーン」及び「福島議定書」等に参加、省エネルギー・省資源の啓発など計画どおり実施したことは評価できる。  <短期大学部> 節電行動計画を策定して省資源、省エネルギーに取り組んだ結果、目標を上回る成果をあげたことは評価できる。
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 「ライトダウンキャンペーン」及び「福島議定書」等に参加し、省エネルギー・省資源の啓発を行うなど、計画どおり実施した。									
		(会津大学短期大学部) 節電行動計画を策定して省資源、省エネルギーに取り組み、目標を上回る成果を上げた。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	0	B	13	C	1	D	0	II	
		A	0	B	7	C	0	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	0	B	6	C	1	D	0		
(1)	評価の充実に係る目標を達成するための措置	A	0	B	8	C	0	D	0	II	〈会津大学〉 研究活動の状況把握に努め、研究成果については「会津大学シーズ集2014」として編集・発行を行ったことは評価できる。  〈短期大学部〉 授業評価等の結果を示し、改善案等の回答を求めることで、授業形態、学習指導法、成績評価基準及び教育目標に照らした学習到達目標を見直すとともに、授業改善を促す取組を行ったことは評価できる。
		A	0	B	4	C	0	D	0		
		(会津大学) 業務実績のとりまとめや、研究成果等の把握など、計画どおり実施した。									
		A	0	B	4	C	0	D	0		
(2)	情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	1	D	0	II	〈会津大学〉 会津大学学術的リポジトリの構築運用について、平成26年7月から運用を開始し、博士論文や文化研究センター研究年報のデータ収集を実施し、リポジトリシステムで学外へ情報を発信したことは評価できる。
		A	0	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) 大学のwebサイトの運営や、内部監査の実施、年報の発行など、計画どおり実施した。									
		A	0	B	2	C	1	D	0		
4	その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置	A	6	B	27	C	0	D	0	II	
		A	2	B	15	C	0	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
		A	4	B	12	C	0	D	0		
(1)	法令順守に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	〈会津大学〉 行動規範や不正・不祥事防止の周知、利益相反委員会や研究倫理委員会の開催などを通じて、コンプライアンスの徹底を図ったことは評価できる。  〈短期大学部〉 科研費助成事業説明会を開催して不正使用防止のための事例説明や不正対策の情報提供を行い、科研費の適正執行の確保に努めたことは評価できる。
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 行動規範に関する周知徹底や内部監査など、計画どおり実施した。									
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 行動規範に関する周知徹底や内部監査など、計画どおり実施した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(2)	施設設備の整備・活用に関する目標を達成するための措置	A	1	B	12	C	0	D	0	II	<会津大学> 先端ICTラボの整備にあたり、会津の寒冷な気候を利用した「外気冷却方式」を導入する設計を行い、省資源・省電力対策を進めたことは評価できる。  <短期大学部> 保守管理者の点検に合わせて劣化状況の調査を行い、施設設備の維持管理に努めたことは評価できる。
		A	0	B	7	C	0	D	0		
		(会津大学) 施設・設備の点検、修理、更新など、計画どおり実施した。									
		A	1	B	5	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 施設・設備のより効率的、計画的な維持管理に向けて長期保全計画の見直しを行うなど、計画どおり実施した。									
(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	12	C	0	D	0	II	<会津大学> 健診実施日をメール等で周知すると共に、健診予備日を設定して受診機会の拡大に努めたことは評価できる。  <会津短期大学> 心理カウンセラーを招いてメンタルヘルス講習会を開催し、こころの健康面でのサポートを行ったことは評価できる。
		A	0	B	6	C	0	D	0		
		(会津大学) 学生・教職員の健診受診の機会確保等、計画どおり実施した。									
		A	0	B	6	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 学生・教職員の健診受診の機会確保等、計画どおり実施した。									
(4)	情報通信基盤の整備・活用に関する目標を達成するための措置	A	5	B	1	C	0	D	0	II	<会津大学> 大学運営の基盤となるICT環境を整備するために、必要とされるコンピュータ・ネットワークシステムの更新やソフトウェアの整備を計画的に進めたことは評価できる。  <会津短期大学> 学内ネットワーク環境について、稼働状況を監視するサービスを新たに稼働させ、未然に防ぐ体制を整備したことは評価できる。
		A	2	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 最新の情報技術を踏まえて演習室のコンピュータシステム等を更新するなど、計画どおり実施した。									
		A	3	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 学内ネットワーク環境について、新たな稼働状況監視システムを導入し、トラブルを未然防止する体制を強化するなど、計画どおり実施した。									

合計	A	45	B	167	C	4	D	0	216
----	---	----	---	-----	---	---	---	---	-----

2 項目別評価 総括表

評価項目	公立大学法人の自己評価		評価委員会評価	
	計画達成の状況	項目別評価	評価における特記事項	

注1:自己評価の考え方

- A・・・年度計画を上回って実施している
- B・・・年度計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・年度計画を下回って実施している(達成度はおおむね60%以上90%未満)
- D・・・年度計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・年度計画を十分に実施できている
- II・・・年度計画をおおむね実施できている
- III・・・年度計画を十分に実施できていない
- IV・・・年度計画を実施できていない